

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年2月14日

【四半期会計期間】 第49期第3四半期(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

【会社名】 株式会社サン・ライフ

【英訳名】 SUN・LIFE CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 比企 武

【本店の所在の場所】 神奈川県平塚市馬入本町13番11号

【電話番号】 0463(22)1233(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役業務支援本部長兼経理部長 石野 寛

【最寄りの連絡場所】 神奈川県平塚市馬入本町13番11号

【電話番号】 0463(22)1233(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役業務支援本部長兼経理部長 石野 寛

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第3四半期 連結累計期間	第49期 第3四半期 連結累計期間	第48期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	8,359,074	8,621,469	11,322,050
経常利益 (千円)	850,615	789,719	1,244,512
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	520,397	557,480	523,320
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	540,178	586,657	532,220
純資産額 (千円)	5,798,187	6,175,908	5,790,228
総資産額 (千円)	36,000,605	35,955,818	36,141,588
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	80.26	85.98	80.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	16.1	17.2	16.0

回次	第48期 第3四半期 連結会計期間	第49期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	36.37	45.52

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についての異動は以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間において、新たに設立した株式会社ペットセレモニーウェイビーを連結の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当第3四半期連結累計期間の財政状態、経営成績は以下のとおりであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、個人消費の動向は、依然として先行き不透明な状態です。

また、経済産業省「特定サービス産業動態調査」（サンプル調査、速報）によりますと、平成29年4月～12月の結婚式場の取扱件数は前年同期比5.1%減の63,215件、売上高は前年同期比3.8%減の174,092百万円となっております。一方、葬儀業の同期間の取扱件数は前年同期比2.5%増の314,602件、売上高は前年同期比1.1%増の443,281百万円となっております。

このような状況下、当社グループにおける各事業の取り組みと業績内容は以下の通りであります。

ホテル事業では、多様なご婚礼ニーズに応えるため、SNS・WEB広告を推進した結果、ご婚礼受注組数は前年同四半期比で増加しましたが、期中のご婚礼施行組数は減少したため、売上高は前年同四半期比14.0%減の1,682百万円となりました。一方で、コスト削減、経費削減に努めましたが、営業損失は42百万円（前年同四半期営業損失は17百万円）となりました。

式典事業では、生前相談会、施設見学会・フェスタ開催等、お客様とのコミュニケーションを深める活動を推進してまいりました。また、平成29年4月には「サン・ライフ セレモニーホール多摩」（東京都多摩市）、平成29年12月には「サン・ライフ・ファミリーホール厚木」（神奈川県厚木市）を新設し、営業エリアの拡充に努めました。また、前連結会計年度に開業した「ファミリーホール綾瀬」（神奈川県綾瀬市）、「サン・ライフ ファミリーホール湘南海岸」（神奈川県茅ヶ崎市）の順調な稼働もあり、ご葬儀件数は前年同四半期比で増加しました。一方、ご葬儀の小規模化に伴うご葬儀1件あたりの売上高は前年同四半期比で減少し、売上高は前年同四半期比3.3%増の5,924万円となりました。営業利益は新規斎場に伴う広告宣伝費等の増加により前年同四半期比7.9%減の1,203百万円となりました。

その他の事業では、介護サービスご利用者の増加とサービス品質向上に努めてまいりました。また、住宅型有料老人ホーム3施設を譲受した結果、売上高は前年同四半期比52.7%増の1,013百万円となりました。

また、介護事業における事業譲受費用の増加により、営業利益は前年同四半期比6.8%減の110百万円となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比3.1%増の8,621百万円、営業利益は前年同四半期比13.2%減の646百万円、経常利益は前年同四半期比7.2%減の789百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比7.1%増の557百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

資産

資産合計は35,955百万円（前連結会計年度末比0.5%減）となりました。

a: 流動資産

流動資産は11,739百万円（前連結会計年度末比10.2%減）となりました。これは現金及び預金の減少等が主たる要因であります。

b: 固定資産

固定資産は24,215百万円（前連結会計年度末比5.0%増）となりました。これは、建物の取得による有形固定資産の増加、「住宅型有料老人ホーム」事業の譲受によるのれんの増加等の無形固定資産の増加、供託金の預入れ及び投資有価証券の取得等による投資その他の資産の増加が主たる要因であります。

負債

負債合計は29,779百万円（前連結会計年度末比1.9%減）となりました。

a: 流動負債

流動負債は1,917百万円（前連結会計年度末比16.8%減）となりました。これは、未払金及び未払法人税等の減少が主たる要因であります。

b: 固定負債

固定負債は27,862百万円（前連結会計年度末比0.7%減）となりました。これは、前払式特定取引前受金及びその他固定負債の減少が主たる要因であります。

純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ385百万円増加し、6,175百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益557百万円の計上と配当金の支払200百万円の結果、利益剰余金が356百万円増加したことと、その他有価証券評価差額金の増加29百万円があったこと等によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,680,000
計	25,680,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成30年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,820,000	6,820,000	東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード)	単元株式数100株
計	6,820,000	6,820,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年10月1日～ 平成29年12月31日		6,820,000		610,000		236,733

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができませんので、直前の基準日（平成29年9月30日）に基づく株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 336,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,482,000	64,820	
単元未満株式	普通株式 1,200		
発行済株式総数	6,820,000		
総株主の議決権		64,820	

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が800株(議決権8個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が44株含まれております。

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サン・ライフ	神奈川県平塚市馬入本町 13-11	336,800		336,800	4.93
計		336,800		336,800	4.93

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成29年10月1日から平成29年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,050,469	8,975,442
売掛金	437,581	491,129
有価証券	182,027	706
商品	36,950	42,253
原材料及び貯蔵品	68,125	79,651
預け金	2,079,428	1,834,069
その他	224,441	319,343
貸倒引当金	3,486	2,771
流動資産合計	13,075,538	11,739,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,645,329	6,178,011
土地	7,706,058	7,729,432
その他（純額）	843,233	696,043
有形固定資産合計	14,194,621	14,603,486
無形固定資産		
のれん	206,895	244,575
その他	416,996	413,183
無形固定資産合計	623,892	657,759
投資その他の資産		
投資有価証券	3,816,831	4,450,478
供託金	1,077,965	1,086,965
その他	3,401,862	3,464,829
貸倒引当金	49,123	47,525
投資その他の資産合計	8,247,536	8,954,747
固定資産合計	23,066,050	24,215,993
資産合計	36,141,588	35,955,818
負債の部		
流動負債		
買掛金	541,686	644,715
未払金	627,261	333,527
未払法人税等	253,091	59,112
引当金	140,580	75,260
その他	741,984	805,258
流動負債合計	2,304,604	1,917,873
固定負債		
前払式特定取引前受金	27,102,061	27,033,157
引当金	65,328	65,520
退職給付に係る負債	129,396	89,441
その他	749,968	673,918
固定負債合計	28,046,755	27,862,037
負債合計	30,351,359	29,779,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	236,733	236,733
利益剰余金	5,170,089	5,526,591
自己株式	325,466	325,466
株主資本合計	5,691,355	6,047,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,872	128,050
その他の包括利益累計額合計	98,872	128,050
非支配株主持分	-	-
純資産合計	5,790,228	6,175,908
負債純資産合計	36,141,588	35,955,818

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	8,359,074	8,621,469
売上原価	6,122,589	6,498,209
売上総利益	2,236,484	2,123,259
販売費及び一般管理費	1,490,944	1,476,300
営業利益	745,540	646,959
営業外収益		
受取利息	6,007	10,668
受取配当金	29,596	65,480
前受金月掛中断収入	20,906	17,793
不動産賃貸収入	11,409	13,581
投資有価証券売却益	26,841	10,905
匿名組合清算益	-	50,256
その他	32,492	30,470
営業外収益合計	127,253	199,156
営業外費用		
不動産賃貸費用	7,877	7,388
前受金復活損失引当金繰入額	2,884	31,354
投資有価証券売却損	4,375	12,213
その他	7,040	5,438
営業外費用合計	22,178	56,395
経常利益	850,615	789,719
特別利益		
固定資産売却益	-	92
補助金収入	14,990	-
損害賠償金収入	-	49,238
特別利益合計	14,990	49,330
特別損失		
固定資産除売却損	78,437	42,000
固定資産圧縮損	14,990	-
特別損失合計	93,427	42,000
税金等調整前四半期純利益	772,177	797,050
法人税、住民税及び事業税	292,242	268,359
法人税等調整額	37,030	28,789
法人税等合計	255,211	239,570
四半期純利益	516,966	557,480
非支配株主に帰属する四半期純損失()	3,431	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	520,397	557,480

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	516,966	557,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,212	29,177
その他の包括利益合計	23,212	29,177
四半期包括利益	540,178	586,657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	543,610	586,657
非支配株主に係る四半期包括利益	3,431	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結累計期間より、新たに設立した株式会社ペットセレモニーウェイビーを連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
減価償却費	407,272千円	429,270千円
のれんの償却額	180,421千円	195,493千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	97,247	15	平成28年3月31日	平成28年6月28日
平成28年11月14日 取締役会	普通株式	利益剰余金	97,247	15	平成28年9月30日	平成28年11月30日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成29年6月23日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	103,730	16	平成29年3月31日	平成29年6月26日
平成29年11月13日 取締役会	普通株式	利益剰余金	97,247	15	平成29年9月30日	平成29年11月30日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,957,601	5,737,381	7,694,983	664,091	8,359,074		8,359,074
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	135,817		135,817	16,706	152,524	152,524	
計	2,093,419	5,737,381	7,830,800	680,798	8,511,599	152,524	8,359,074
セグメント利益 又は損失()	17,055	1,307,540	1,290,485	118,906	1,409,392	663,851	745,540

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、ファイナンシャル・サポート・サービス、有料老人ホーム事業、少額短期保険業他が含まれております。
- 2 セグメント利益又は損失()の調整額 663,851千円には、セグメント間取引消去47,998千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 711,850円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,682,583	5,924,977	7,607,560	1,013,908	8,621,469		8,621,469
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	173,275		173,275	26,610	199,886	199,886	
計	1,855,859	5,924,977	7,780,836	1,040,519	8,821,355	199,886	8,621,469
セグメント利益 又は損失()	42,952	1,203,641	1,160,689	110,776	1,271,465	624,506	646,959

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、ファイナンシャル・サポート・サービス、有料老人ホーム事業、少額短期保険業他が含まれております。
- 2 セグメント利益又は損失()の調整額 624,506千円には、セグメント間取引消去47,910千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 672,416千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントの介護事業において、事業譲受によるのれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、214,655千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	80円26銭	85円98銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	520,397	557,480
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	520,397	557,480
普通株式の期中平均株式数(株)	6,483,156	6,483,156

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第49期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)中間配当については、平成29年11月13日開催の取締役会において、平成29年9月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行なうことを決議いたしました。

配当の総額	97,247千円
1株当たりの金額	15円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成29年11月30日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年 2月14日

株式会社サン・ライフ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	野 島	透 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齋 藤	慶 典 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サン・ライフの平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サン・ライフ及び連結子会社の平成29年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。